

令和元年度 森林整備事業 再評価調書

事業名	林道開設事業 (森林基幹道)	路線名	こうのたまがきせん 神野玉笠線
事業主体	徳島県	関係市町村	海陽町(旧海南町)
事業	【目的】 ・本路線は、海部郡海陽町神野の町道海部川北線に接続する林道神野内妻線を起点とし、町道玉笠線に至る森林基幹道である。 ・当該林道は森林資源の合理的経営管理に資するための重要な基盤となっており、森林整備の促進により公益的機能の維持増進と、中山間地域の雇用増進を図ることを目的とする。 また、国道193号及び、町道における災害時や緊急時の迂回路としても期待されている。		
	概要	【内容】 利用区域面積 510ha [人工林面積: 403ha (79%)] 受益戸数(森林所有者数) 112戸 幅員 3.5m～4.0m 計画延長 8,682m (うち令和元年度末の供用予定延長 8,318m) 総事業費 2,194,800千円 (うち令和元年度末の実施予定事業費 2,061,800千円) 事業予定期間 平成7年度～令和2年度 (26年間)	
評価	【事業の進捗状況】 起点側神野工区で5,835m、終点側の玉笠工区で2,483mが既に供用されており、令和元年度末の進捗率は96%とほぼ計画どおり進捗している。 <div style="text-align: right;">[進捗率:95.8%]</div>		
	【関連事業の整備状況】 神野工区側の供用開始した区間では、作業道が開設され急速に森林整備が実施されている。今後さらに作業道の計画もあることから、引き続き森林整備の促進が期待される。		
	【社会経済情勢の変化】 ・本県では、充実してきた森林資源を背景に「数次の林業プロジェクト」を展開しており、令和10年度(2028年)までに「県産材の生産量・消費量を70万m ³ /年」を戦略目標の一つとしている。 ・高まる木材需要に対するため、更なる増産と、それを担う人材育成が急務であり、施業の効率化による生産性の向上と低コスト化を実現するためにも路網整備は重要である。		
項目	【計画上重要な部分の変更の必要性の有無】 無し		
	【事業効果の発現状況】 ・路網整備によるコスト縮減等により伐採が促進された。 ・森林整備が促進され公益的機能効果が高まった。 <div style="text-align: center;">[費用対効果] 1.22 (国の採択基準は1.0以上)</div>		
	【受益者・関係機関の意向】 森林施業のみならず、地域の交通ネットワークとしての役割も期待されることから、地元からは早期完成を要望されている。		
目	【事業の実施方針】 継続して事業を実施する。		